



2018年4月発行 No. 113

発行者 田森茂基 編集者 西島啓喜

発行所 070-0058 旭川市8条西1丁目1-11

旭川バプテスト教会内

http://hokkaidobap.jimdo.com pw:jbc1947

巻頭言

「刻まれた文字」からの解放

北海道バプテスト連合 会長 田森茂基（旭川教会牧師）

しかし今は、わたしたちは、自分を縛っていた律法に対して死んだ者となり、律法から解放されています。その結果、文字に従う古い生き方ではなく、“霊”に従う新しい生き方で仕えるようになっているのです。（ローマの信徒への手紙 7：6 / 新共同訳）

昨年11月に開催された、連盟「第63回定期総会」において、私たちは「連盟70年の歩みから性差別の歴史を悔い改める」という声明文を採択しました。このように“性差別”の問題に取り組むことは、キリスト教会にとって大きな変化であると思われています。何故なら、これまで教会の中には『聖書の字面（刻まれた文字）に基づいて』、“性差別”を積極的に肯定、或いは消極的に黙認する者が多数であったからであります。つまり、“性差別”の問題に取り組む際には、『聖書の字面に対して自由である』事が求められると言っても良いでしょう。逆に、「聖書にはこう書かれている」と言うことを大切に字面に固執し続ける限り、“性差別”の問題に取り組むのは難しいと言えます。例を挙げると、「婦人が教えたり、男の上に立ったりするのを、わたしは許しません。むしろ、静かにしているべきです。なぜならば、アダムが最初に造られ、それからエバが造られたからです。（1テモテへの手紙2章12～13節）」という記述をどう受け取るのかと言うことでもあります。“性差別”の問題のひとつである、現代の教会が今まさに直面している“性的少数者（※LGBT）”についても、『聖書の字面に対して自由である』事を抜きには、受け容れることはもとより、課題として取り組む事さえ難しいでしょう。

使徒パウロは「ローマの信徒への手紙」の中で、自分たちは“律法に縛られていた”と告白し、その律法に縛られた状態を「文字に従う古い生き方（新共同訳）」と表現しています。キリストと出会う以前のパウロは、律法として“刻まれた文字”そのものを、神の意思として神格化し、文字と向き合い、文字に従って生きる事に何の迷いも疑いも抱かなかった事でしょう。しかし、復

活のイエスと出会い、ダマスコで目が開かれた時、彼は“文字は神ではない”という事実に気が付いたのだと読まれます。それ故に、「ローマの信徒への手紙」7章6節に記されているパウロの言葉は、律法主義からの解放に限定したものではなく、パウロの書き記した言葉も含む、あらゆる文字を神格化し、絶対化することからの脱却を促していると思える時、“霊”に従う新しい生き方とは、『聖書の字面に対して自由である』事と重なり、今の私たちにも向けられているように感じられるのです。

もちろん、『聖書の字面に対して自由である』と言う事は、聖書が無価値になるという意味では決してありません。むしろ、聖書と向き合うことがこれまで以上に必要となってくるでしょう。何故なら『聖書の字面に対して自由である』ということは、“刻まれた文字”の背後にある、神の御旨に心を寄せ、“刻まれた文字”を通して聞こえてくる神の声に耳を傾けることだからであります。別の表現をするならば、「いまここにイエスがいたら、何を為し、何を語るのか」を想起するということです。たとえその言動が『聖書の字面に基づいて』いたとしても、それによって人と人との間が分断され、教会が人を排除するならば、イエスは共に喜ばず、愛と憐みをもって諭されるだろうと私は聖書から読まされています。

※LGBT:Lesbian(レズビアン/女性同性愛者)、Gay(ゲイ/男性同性愛者)、Bisexual(バイセクシャル/両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー/性別違和)の各頭文字を並列表記した、性的少数者の象徴表現であり、この4タイプだけに限定して性的少数者を定義する訳ではありません

●災害対策委員会活動報告～室蘭教会にて牧師を中心としたDIGを開催～

田代 仁 災害対策委員長

DIG（災害図上訓練）というのは、大規模な自然災害などを想定して自宅・職場などからの避難を地図上で演習するものです。一度体験すればご家庭でも安価で簡単に、そして高齢者から子どもまで参加できるという特徴があります。何より大切なのは、普段の生活の中で少しずつ「もしもの時」を考えることが出来ることです。

ただ、私たちが教会にいるのは1週間のうち数時間だけで、その意味では教会を中心にこの演習を行うことあまり有効ではないかもしれません。そのため、今回は教会の牧師を対象に行ってみました。その体験を教会員の皆さんにフィードバックしていく方法を考えていくためです。

ここで、実際にDIGを体験していただいた、吉田尚志牧師（室蘭教会）に少しお伺いしてみます。

田代) 昨年10月2日(月)に、吉田先生にDIGを体験していただいたわけですが、体験する前はどんな印象をおもちでしたか？ また、体験してみてもどのように思われましたか？

吉田) 今回DIGという言葉は初めて聞きました。「災害時における避難経路の想定をする」という内容と聞いて少なからず緊張感を覚えました。ところが実際に体験してみると、普段見慣れているように見過ごしている地域の様子をよく知る機会となり、具体的な避難経路もイメージできて、この経験が自分にとっての安心材料となりました。

田代) 吉田先生は東日本大震災の時に盛岡におられましたか、その時の経験から何かおっしゃりたいことはありますか？ あるいは、その時の経験からこのDIGの有効性についてどのように思われますか？

吉田) わたしは震災当日埼玉県におりましたので、東北での震災の瞬間は体験してはおりませんが、家族や教会の皆さんなどの身近な人たちとの間で、“災害時に自分たちがどう行動するのか”を共有しておくことは必要かもしれません。一方、DIGの有効性について思うことは、災害時に自分にとってどの場所が最も安全地帯かを把握することができ、かつ、その安全地帯に行くまでの道程で危険

な箇所をも把握できるということだと思います。

田代) 図上演習後に実際に避難ルートを歩いてみましたが、何か気になったことや気が付いたことなどありましたか？

吉田) 高台の指定避難場所と低地の指定避難場所があったのですが、室蘭教会は低地の避難場所のほうに近いことが解りました。ところが津波による河川の逆流を想定した場合、高台の避難場所の方が安全なのです。しかしそこに行くためには河川に架かる橋を渡らなければなりません。その場合どちらがより安全なのか、あるいは他の避難場所を想定しておくべきかなどなど考えさせられました。

田代) DIGは基本的に何か専門的な道具立ては必要ないのですが、そういった材料があったら、同じようなDIGをご自身で行うことはできそうですか？

吉田) 是非してみたいですし、できるかと思います。

田代) 今後、防災について準備したいこと、考えてみたいことなどがあったら教えてください。

吉田) まず、教会の皆さんと一緒に教会の付近を歩いてみたいです。きっとわたしが思いつかなかった意見がいろいろ出てくるでしょう。皆さんと一緒に見聞きし、災害時の自分達の在り方を考えたいです。

田代) ありがとうございます。

先日、新たに政府の地震調査委員会は北海道東部沖の千島海溝沿いで、東日本大震災のようなM9級の超巨大地震が起こる可能性を指摘しました。(30年以内の発生確率は7～40%とされています。)このような大規模災害に対して、しかし私たちは無力ではありません。草の根的でも、今できることを考えて少しずつ積み重ねていく。その結果が「もしもの時」を左右するかもしれません。その意識を大切にいただくことがDIGの目的とも言えます。ぜひ、体験してみてください。こちらからお伺いします。

●青少年春の修養会 in 室蘭教会 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ リビングホープ教会 定免直未

今年度の青少年春の修養会が3月26日(月)～28日(水)の日程で室蘭バプテスト教会の会堂をお借りして開かれました。

『違いに出会い、違いを越える～みことばによって～』というテーマのもと、初参加者17名を含めた36名の青少年・スタッフと、インドネシアから来られている室蘭工業大学の留学生4名の方々を加え総勢40名となりました。

一日目は教会堂の内や外をグループで探索するトレジャーハンティングで初めて出会った信仰の仲間たちと打ち解け、夕食後の証と賛美の時間では留学生の方の証とインドネシア語の讃美歌と一緒に賛美したり、讃美歌にまつわる証しを青少年を代表して函館教会の本多基さんにいただきました。また室蘭教会の紹介を教会役員の柴田信行さんにいただき不思議な出会いも教えていただきました。

二日目のバイブルスタディーではヨハネによる福音書13:1～20より実際にお互いの足を洗うというイエスさまのされたことを体験しました。

また、フィールドワークとして室蘭の歴史のなかの一つ中国人強制連行・労働に関わるお話を地元の方にお聞きし実際に慰霊碑を訪ねることができました。地元では知られていても、他の地域に住む私たちが知らない歴史に出会わされました。

三日目の派遣礼拝では松坂克世牧師による英語のメッセージを聞きながら他国で礼拝を守っている留学生の方々の強い信仰に出会わされ、狭い枠にとらわれている自分自身とも向き合わされました。

三日目の夜に行われた「隣人に出会う旅の報告会」の中で報告をしてくれた参加者の多くが“隣人に枠はないと思った。”と話してくださりスタッフとして関わりながらも青少年たちから多くの気づきと出会いをさせていただきました。また来年も皆さんに会えることを楽しみにしています。

今回の修養会に多くの青少年を送り出してくださいましたそれぞれの教会のお祈りとお働きに感謝いたします。

●現会堂感謝礼拝のご案内 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 苫小牧教会牧師 田代 仁

聖名讃美します。

皆さまのお祈りとお支えにより、なにより神さまの御恵みとお導きにより、苫小牧バプテスト・キリスト教会はこの春より新会堂建築を行う運びとなりました。本来であれば、この小さな群れでは無謀ともいえる計画でしたが、誰一人この計画を「やっぱり中止しましょう」とか「いったん中断しましょう」と声を上げることもなく、主の御心と信じて歩んでまいりました。皆さまのお祈りとお支えが、その何よりの励ましとなりました。心より感謝を申し上げます。

振り返れば、苫小牧教会は連合諸教会の祈りと決断により生み出された教会として歩み始めました。その時に現在の会堂は建てられ、今もその恵みの中に礼拝する群れとして呼び集められていることを思います。新会堂建築計画はその恵みの上に始められ、ここまで歩んでまいりました。

そこで、現会堂での最後の礼拝を感謝礼拝とし

て位置づけて以下のように行いますので、ご案内申し上げます。なにぶん主日に行いますので、覚えてお祈り頂ければ感謝です。なお、献堂式につきましては後日ご案内いたしますが、新会堂建築が順調に進んだ場合11月23日(金)に行うことを計画しています。ご予定を立てるときに覚えておいていただければ感謝です。どうぞよろしくお願いいたします。

主に在りて…

記

日 時：2018年4月15日(日)

11:00より感謝礼拝。

礼拝後に感謝会を行います。

場 所：苫小牧バプテスト・キリスト教会

説教者：澤田 二穂 師

以上

「2018 信徒大会」 第二信

いよいよ「信徒大会」の開催まで4か月を切りました！
すでに日程（8/12～14）と、場所（日高）についてお知らせしましたが、新たなニュースとして参加費をお知らせいたします。

- 「2018 信徒大会 in 日高」
- 日 時：2018年8月12日（日）19：00～14日（火）12：00
- 場 所：「日高青少年自然の家」
- 定 員：140名
- 参加費：一般4,000円、少年少女3,000円、小学生以下2,000円
(2泊3日の宿泊&食費)

参加費は確定ではありませんが、およそこのあたりを目安にしております。
交通費も補助を予定しておりますので、ご期待ください！
皆様の参加を待ちしております。

2018 信徒大会実行委員会 委員長 田森茂基

北海道バプテスト連合 定期総会開催の公示

2018年2月

連合会長 田森茂基

いつも連合のためにお祈りとお支えを心から感謝いたします。
以下のように2018年度定期総会を招集いたします。祈りつつご準備ください。なお、代議員登録その他の詳細は別送にてご確認ください。

記

- 日 時 2018年4月30日（月・祝）10:30～15:30
※各会9:30～10:20、
開会礼拝10:30～11:00
派遣礼拝15:00～15:30を予定
- 会 場 札幌バプテスト教会・礼拝堂
- 総会牧師 田代 仁 氏（苫小牧）
- 議長団 議長 福田史子 氏（旭川）
副議長 吉田尚志 氏（室蘭）
- 代 議 員 各教会3名以内（連合規約12条）
- 旅費補助 代議員の旅費を補助します。宿泊費補助の対象は、
函館、函館美原、釧路、帯広、連合役員、総会役員です。
- 議 案 送付済みにつき省略